

伯利西爾時報

NOTICIAS DO BRAZIL
Publicado semanalmente
Rua Conselheiro Furtado, No. 89
Caixa Postal 4
Tele. Central, 2778
S. Paulo, Brazil
Proprietario e editor
Seisaku Kuroishi
Assignaturas
por Anno 10\$000
Semestre 5\$800
Mez 1\$000
Semana \$800

品格と音楽

古へに於ては、人間の優劣を區別するに門地を以てし、宗教を以てし、人種を以てし、色を以てしたものであるが、其の後世が段々進歩に従ひ、夫等が誤つた見方であることが解つたので、今は漸く品格の有無高下に依つて、人間の優劣を區別する様になつたのである、尤も英、米の如きは政治上今猶ほ有色人種を排斥するの陋習を有つてゐるが、是れとて今度の講和會議で理窟だけでも、其の非を覺つて来た様である。

石井大使の聲明

左は六月四日日本協同會俱樂部に於て試みし駐米大使石井兼次郎の演説大意なり
石井大使の聲明
日本協同會に於ける

大酒の犠牲

「カリカク」家の家系調べ
恐るべき遺傳の實例
「カリカク」家の家系調べ
恐るべき遺傳の實例

カタリナ耕地

六月十一日又旅に出でアグロドス
近頃はちと腹がふくれ勝た、大にブルガントを呑まうと思ふてゐる。

告

告
歐洲戰亂中當國在留者ノ本邦送金困難ノ事情アリシ爲メ、便宜當ニ於テ送金ノ依頼ニ應ジタル處今回「リオ」市ニ横濱正金銀行支店開設セラレタルニ付テハ、爾今本邦ニ於テ直接同行ヲ經テ送金シ得ベキニヨリ當館送金取扱ハ去月三十日限りヲ廢止セリ。

告

告
帝國總領事館
在サンパウロ
帝國總領事館分館主任
外務書記生 多羅間鐵輔

告

告
帝國總領事館分館
在サンパウロ
帝國總領事館分館主任
外務書記生 多羅間鐵輔

氣運無政府の状態に陥らんと欲し居多のであるが、酒は毒と云ふべきで、酒を飲めば、精神は衰へ、武器を失ふに等しい。酒を飲めば、精神は衰へ、武器を失ふに等しい。酒を飲めば、精神は衰へ、武器を失ふに等しい。

大酒の犠牲
「カリカク」家の家系調べ
恐るべき遺傳の實例
「カリカク」家の家系調べ
恐るべき遺傳の實例

カタリナ耕地
六月十一日又旅に出でアグロドス
近頃はちと腹がふくれ勝た、大にブルガントを呑まうと思ふてゐる。

告
歐洲戰亂中當國在留者ノ本邦送金困難ノ事情アリシ爲メ、便宜當ニ於テ送金ノ依頼ニ應ジタル處今回「リオ」市ニ横濱正金銀行支店開設セラレタルニ付テハ、爾今本邦ニ於テ直接同行ヲ經テ送金シ得ベキニヨリ當館送金取扱ハ去月三十日限りヲ廢止セリ。

告
帝國總領事館
在サンパウロ
帝國總領事館分館主任
外務書記生 多羅間鐵輔

告
帝國總領事館分館
在サンパウロ
帝國總領事館分館主任
外務書記生 多羅間鐵輔

告
帝國總領事館分館
在サンパウロ
帝國總領事館分館主任
外務書記生 多羅間鐵輔

一概に米人を罵倒するは不可也

神の教を宣傳する牧師の身分にも、地を掠奪せよと叫ぶべしと、ある間敷米人ホルナー牧師が或日、卑劣なる基督論を述べた。...

▲四海に布教 せしめたるなり足下は東洋人とメ市に旅行して不快を感じたりと云ふ若し足下にして基督が...

▲神の父性と 四海同胞の道を傳ふるが至當ならぬ然るに足下は之を無視して東洋人を該士より放逐せよと...

▲預送金に就て 時報記者足下、貴紙の帝國總領事館廣告に依りて七月一日から...

御申越の次第は判りました。然るに、聖市へ序の時に聖市で日本への送金を取組むたいと云ふ考へであるならば...

衛生欄 高岡醫師 〇間私事三年前から頭が重く物事に對して根氣薄弱で中途で厭になる...

無駄ばなし 久米ノ町人 ◆正金銀行支店長前田忠君先般聖市に...

土地賣却 Heitor Legend 豫期した如く Heitor Legend 驛はノロエタ線に於ける同胞發展の...

イタコロミ 殖民事務所 Escritorio da Fazenda Itacolomy Estação Heitor Legend Linha Noroeste

旅館 和洋料理一切 室内に改良を加へ取扱の丁寧に可致候間 御投宿被下度願上候

日本旅館 親切丁寧 御取扱可申候

雑穀買入 日本諸君の御便宜を計る爲めに 正直を旨とし雑穀一切の買入に従事致候間多少に不拘御用命被仰付度願上候

石村洋服洗濯所 電話セントラル參貳參四 Rua dos Lavapes No. 236

ガルサ殖民地 本年度より續々入殖者あり御一報次第明細書を送呈す 委細は左記に御照會あれ 代理人 矢崎 節夫

苛酷な税吏の爲に

減び行く小商人

昨今労働問題が強く叫ばれてゐるが、小商人の救済問題も同時に議者間に頭をもたげて来た先月、栃木縣に開かれた關東商業會議所大會の席上、之に關する眞摯な討議があり、

東京實業聯合組でも最近之に關する研究の結果を発表してゐるが、東京商業會議所では來月十日に開かれる大會に附議すべく五月二十

五日の準備會で建議案、税吏の態度を改めし納税の美德を涵養するの件、

を議する由であるが、右に付商業會議所員曰く「小商人の救済策は却々六ヶ敷しい問題で、

良案がない所が小商人業者の間に納税の不均といふ事が強く頭を粘着してゐる税吏の苛酷請求に堪へずして業を廢する者續々ある

それが就中綿糸業者に多い一年五六百圓位の所得者は(一ヶ月にすれば僅に五十圓)所得税と營業税との二

重の重荷が負はれ其内使用人一人に付二圓宛徴税される事實上彼等は營業費と生活費との區別がないので

あるが、冷徹無殘の税吏は遠慮なく取立てる從つて兩者は益々疎隔して

仇敵の如き關係となる兎に角國家の健全分子たる小商人業者が最近漸次

衰滅に赴かんとしつゝあるのは由々敷大事で之が救済策の一として税吏の態度を改めしめようとするのであ

る之に反して富豪成金連に脱税者の多いのは注目すべき現象である

富豪の脱税多し 同情すべき小商人 大藏省某當局曰く「殊更富豪に寛

して下層民に酷な譯はないが遺憾ながら富豪の財政は極めて複雑なので

調査が行届かぬ場合が多い従つて脱税も多い結果になる

納税成績を見るに富豪成金連が成績不良なのは事實である七年度戦

隊の悪口をお構ひなしてドシ〜云ひそれが新聞に出たり杯するものだから田中の爛爛玉が破裂して參謀本部に上原の所へ一と苦情持ち込ん

だ云ふのが今度の喧嘩の筋書だ只今の様に國際關係の複雑の際陸軍省と參謀本部と意見を異にしてゐては

行違ひを生じ易いから今後は、お互に歩調を一にしやうと云つて表面は妥協的交渉だが其實對手に

グウの音も出させぬ釘を一本打つたさうだから參謀本部が黙つてゐる

大正六年二月以來地中海方面の敵潜水艦艦隊の任務に従事しなす佐藤

中將の率ゆる艦隊出雲及び柳、檜の驅逐艦の一隊は來る六月中旬頃講和豫備會議終了次第凱旋歸朝

の途に就く等なり、

田中陸相から 參謀本部へ 一本グサグサ太い釘を、上原大將と田中中將との

妙な關係が又纏れ出した、昨夏西比利問題の起つた當時總長次

長の間、妙な關係を作つた上原大將と田中中將は其後田中は

隣りの陸軍大臣の椅子に据る事となつたが其後二人の間は纏れ合つた

余は中々に解けさうもなく隔てた高統帥府たる參謀本部との間にも

れ以來自然一種の空氣が漂ひ初め事ある毎に兩者の暗闘を見せつゝある

のであるが近頃は日米親善といふ問題で引き入れて其暗闘が特に

目立つて激しくなつて來た或る消息通は云ふ「陸相の田中が近來日米親

善を高唱する様になつたのは無論外交調査を慮らぬ結果で其以來

西伯利に在る米國軍隊を賞揚したり我出征軍との圓滿協調を盛んに吹聴したり近く米國大使を

後樂園に招待したり類に御機嫌王手製紙、東洋印刷、東京瓦斯、東

京製鋼其他の各工場より成る都下工場組合の委員は五月十二日午後三時

我如古氏失格

沖繩縣選出正交俱樂部所屬代議士我如古樂一郎氏は選舉法違反として

那覇地方裁判所に禁錮五ヶ月に處せられたるが長崎控訴院に控訴して

禁錮三ヶ月となり更に大審院に上告中の所十四日午前大審院刑事第三部

細民部落の 德川公 奈良縣下視察 德川家達公は十五日午前奈良縣北

川知事以下奈良市民の多数に歡迎を受け奈良ホテルに入り少憩後西野

坂細民部落並に奈良養老院其他の部落を視察し午後四時ホテルに歸還

たり同夜は縣下名士八十名の招待宴あり

高木博士逝く 享年三十八 高木兼寛男次男醫學博士兼二氏は數

日來重態を傳へられしが五月三日午四時麻布烏居坂の自邸に逝けり

享年三十八、博士は明治三十一年三月高等師範附屬中學校卒業後海外

に在りて内科病理學を修め四十一年歸朝と共に慈惠會醫學學校教授となり

又東京病院内科主任たり四十二年博士號を授けらる夫人との間に二男三

女あり

内局に至つて平和だ 東上中の西本願寺足利執行 西本願寺足利執行は目下東京築地本

願寺別院に滞在するが管長事務代理を更迭せしめんとする作戦を齎し

るやの說あり、師を訪へば「私の目に映るも己むを得ませぬが、併し今度私の上京した用は全然管長

代理の問題に觸れて居ませぬ、マア御成年式や五十年祝典の暇ひです、

上京した用と申すは西本願寺の勢力を今少し東京方面に植附ける

溺死五百名を下らず

燧洋に出漁の鯛網船三百隻中二百隻は顛覆せり

廣島縣佐伯郡大村深井勤十所有の漁船六隻に同村附近の漁夫五十二名

分乘し先月末燧洋方面に鯛網出漁中五月三日の暴風に其内四隻顛覆し

二十一名行方不明となり死體を捜査の結果漸く六名だけ判明し七日午後

柿の浦に歸着し夫々家族に引渡した

り、暴風以來家族等は生死如何と心配し居たる折柄とて遺族親戚見舞人

等に海岸は忽ち人山を築きたり、尚歸來せる漁夫の談に據れば目下鯛

網の季節なるより同方面に出漁し居たる級網漁船のみにても三百隻を下

らず殆ど三分の二は顛覆したれば少くとも同方面のみにて五百以上の溺

死者を出したるべしと

弊店は新式流行形を最も廉價に調製可仕候何卒御注文の程奉

電話(セントラル)四五五九

電話(御呼び出し)被下度候

田口洋服店 Rua Conde de Sarzedas, 73

各種流行服 材料精練

女羅紗服 直段勉強

其他御修理

千九百十九年五月

葡和辭書

在東京伯國 大武和三郎氏著 公使館員 寸珍版美本 六百四十四頁

實價 七ミル五百レリス 送料(郵便書留送付は 五百レリス

送付)鐵道便送付は 一ミルレリス 右伯語研究會の依託に據り實價を以て販賣

す御入用の方は代金に郵税を添へ申込あれ、發送は着金順に定む

イグアへ植民地はイグアへ植民地本部

リベイロン附近はリベイロン時報支社 Caixa Postal, 290 Ribeira Preto.

取次所 伯刺西爾時報社營業部

Noticias do Brazil Caixa Postal, H São Paulo

植民募集 エスタソン ポルト、ジョン、アルフレッド

西原植民地 (停車場より一キロメートル) Estação Porto João Alfredo L. Sorocabana

土地の年期貸與に家屋、食料、其他に關し各種の便宜を供し小資本を以て確實多量なる農産の

持主たらしむるを方針とす、米、豆、カンナ、棉花、煙草等の收穫善美にして運

輸交通の便宜と衛生佳良なる經驗を有す、明細書は御請求に應じ送呈す、猶ほ實地御視察

を乞ふ

千九百十九年五月

日君に案内せらるゝの記

鹿野久市郎

南米俱樂部 圖書室で或日書よんで... 鹿野君が来てゐるから... 鹿野君が来てゐるから... 鹿野君が来てゐるから...

僕は一生涯に覚え込んだる有りて有ゆる有難い言葉... 鹿野君が来てゐるから... 鹿野君が来てゐるから...

玉臺の廣大無邊なところ... 鹿野君が来てゐるから... 鹿野君が来てゐるから...

野村君は近頃のボロボロの家から... 鹿野君が来てゐるから... 鹿野君が来てゐるから...

大原氏はキロムボ道を取り僕は第五... 鹿野君が来てゐるから... 鹿野君が来てゐるから...

鹿野君が来てゐるから... 鹿野君が来てゐるから... 鹿野君が来てゐるから...

僕の旅行(十二)

日曜 剛

旅行第十一日目 四月七日 半晴 月曜日... 鹿野君が来てゐるから... 鹿野君が来てゐるから...

鹿野君が来てゐるから... 鹿野君が来てゐるから... 鹿野君が来てゐるから...

町歩の甘蔗を八百ミルで買ふと云ひ... 鹿野君が来てゐるから... 鹿野君が来てゐるから...

鹿野君が来てゐるから... 鹿野君が来てゐるから... 鹿野君が来てゐるから...

朝日旅館 待遇親切、室内清潔、食費至廉... 大澤醤油取次販賣... 村上光雄

轉居廣告 拙者儀左記の處へ轉居仕候間此... 間崎三三三

尋人 福岡縣栢屋郡志賀島村... 勝三郎

旅館並に 醬油、賣藥取次 柿内直吉

精米廣告 日本人諸君の爲めに特別勉強... 精米所

木藤商會 R. C. Serzedas S. Paulo

新荷到着 命の母、寶母散、中將湯、清補湯... 大澤醤油取次所

大澤醤油取次所 KIDO SHOKAI R. C. Serzedas S. Paulo





平内大和守

第四十二席 平内大和守より 高祿を賜はる事... 鶴の一聲、大和守様自から先に立つて客殿に進まれる、御家來の面々は「ハッ」と答へて其の支度には及ばぬが、平内も事茲に及んで...

婦人欄 警戒すべき思 春期と更年期 (下) 醫學博士 富士川 游 此の御話は婦人の殆んど全部を通じて...

ANTUNES DOS SANTOS & COMP. AGENTES DAS COMPANHIAS NIPPON YUSEN KAISHA :: OSAKA SHOSEN KAISHA 大阪商船會社定期船 日本郵船會社定期船

確實安全なる植民地 一、イグアベ植民地はサンパウロ州輸出港であるサントスより五十餘里の距離にあり...